前兵庫県議会議員

あいざき佐和子

ニュース

131号　2023年冬

毎月 発行中！

日ごと寒さが増すこの頃、いかがお過ごしでしょうか。
県議会選挙の決点から約半年。一から出直して、毎月のチラシ作成、駅前での街頭活動、ご用伺いの訪問と、走り回っています。
ただ、1人でコツコツやっているため、チラシ配布も訪問も限りがあり…ご無沙汰になっており申し訳ございません。相崎、元気に前向きに活動しています！"認め合い支え合う社会"に全力投球！　あいざき佐和子

特集　どうする？　子ども若者の育ち！

提言 1

不登校の理解とサポートを！

■不登校とは？現状は？

不登校とは「何らかの心理的、情緒的、身体的あるいは社会的要因・背景により、登校しないあるいはしたくてもできない状況にあるために年間30日以上欠席した者（病気や経済的な理由は除く）」と文部科学省で定義され、兵庫県では2021年度、公立小学校で3,643人(全体の1.32%)、公立中学校で7,679人(全体の5.82%)が不登校と報告されています。つまり中学校ではクラスに2～3人おり、実際に私も不登校のご相談を多くお聞きします。

■「不登校は親の責任」？

今年10月、滋賀県の東近江市長が「不登校の大半は親の責任」「フリースクールは国家の根幹を崩す」と発言し、議論になりました。皆さんはどう思われたでしょうか？

最大の目的は「子ども達が有意義な義務教育期間を過ごし、自立した幸せな未来へ羽ばたくこと」だと思っています。学校は様々なことを学ぶ大切な場です。学校が合っている子には素晴らしい場になりますが、しんどい場・なじめない場になる子もいるでしょう。一人ひとりの想いや状況に寄り添い、多様なニーズに応じていかねばと思います。（→裏へ）

■何ができる？→いろいろやる！

◇不登校支援員（県は伊丹市に1名配置。市は小学校のみ配置。教員不足であるが増員を）

◇各校での独自支援員（各校で工夫中も限界あり。行政での底支えを）

◇スクールソーシャルワーカー(不登校は社会的要因を抱える場合も。福祉と連携の必要あり)

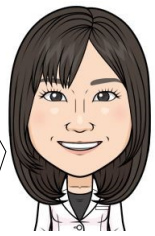
☆フリースクール（教育機会確保法で明記されているように、行政との連携強化が肝要。）

☆居場所（支援や居場所提供をする団体が増加。行政は連携サポートを）

不登校。周りでも「うちの子も」など、本当によく聞きます。

私の想いは「すべての子どもが自分なりの学びを通じて成長してほしい」です。学校ではそれぞれの子どもの個性に合わせた成長ができるよう更なる前進は必要。先生方も尽力くださっていますが、学校現場にも限界はあります。

だからこそ、サポートに立ち上がる人を心から尊敬します。私も一緒に、一人ひとりの想いや状況に寄り添い、大切な子ども達の成長を力強く支えます。



提言2 ヤングケアラー、まず相談を！

家事や家族の世話を担う若者“ヤングケアラー”。県議時代に「家族のサポートが勉学や成長の過度な負担になっているなら問題。相談窓口を設けて福祉と連携を！」と提案しました。

そして昨年6月に県の専門相談窓口が開設！ 1年で延べ327件の相談がありました。ただ、本人からの相談は全体の約3割。自身がケアラーと自覚していない場合もあるでしょう。

当事者でも学校や地域でも、まずはご相談を！ 福祉と連携してケアラーを支えます。

兵庫県ヤングケアラー 相談窓口　078－894－3989　yc@hacsw.or.jp

活動あれこれ

募金の呼びかけ

講座の講師

マニフェスト大賞
授賞式の手伝い

こども食堂お手伝い

あいざき佐和子 プロフィール

●1973年3月生 ●私立親和中学・女子高校 ●国立奈良教育大学 ●〃 大学院(政治学)●ORIXブルーウェーブマスコットガール ●ケーブルテレビ(現:ベイコム)アナウンサー ●第12代 兵庫県広報専門員 ●伊丹市議会議員(3期)／第61代市議会議長／阪神市議会議長会 会長 ●兵庫県議会議員(1期) ●全国マニフェスト大賞 2016年優秀賞(個人) 2021年グランプリ(団体) ●教員免許(小学校・中学校社会・高校地歴)〇家族:夫・長女(高3)・次女(中2) 〇中学高校と皆勤

あいざき佐和子は1人でコツコツ活動中。お力をお貸しください！少しだけでも助かります！

●ニュースの各戸ポスト配布

●寄付：三井住友銀行 南森町支店 普通1378648 アイザキサワコ

※後援会にて管理します

「立憲民主」兵庫県第6区版 号外

LINE@　ホームページ　Facebook　Twitter　Instagram　YouTube

連絡先

〒664-0858 伊丹市西台5-1-11

電話(072)768-9260 FAX (072)768-9261

sawako.aizaki@gmail.com